



【文学部 日本文学科】おすすめ本



基 礎								
	タイトル	著者	出版社	出版年	ISBN	資料ID	コメント	推薦者
1	「文」とは何か 楽しい日本語文法のはなし	橋本陽介	光文社新書	2020	9784334044886	10+0371098	副題に「楽しい日本語の文法のはなし」とあるように、とにかく不人気な文法について初学者にも分かりやすく書かれています。日本語学や言語学の研究史も一緒に学べるので最初の一冊としておすすめです。	中川 祐治
2	入門平安文学の読み方	保科忠	新典社	2020	9784787968463	10+0368605	現代の小説や漫画を「読む」際に、誰かの解説に納得して原文を読まずに終えるとしたら、少しもったいないですね。古典も同じです。本書は平安朝の文学を例に、古典を調べて考える「読み方」を教えてくれる一冊です。	古田 正幸
3	はじめて読む源氏物語	藤原克己・今井上	花鳥社	2020	9784909832153	10+0364268		
4	くずし字で「百人一首」を楽しむ	中野三敏	角川学芸出版	2010	9784046214416	10+0373726		
5	和歌とは何か	渡部泰明	岩波新書	2009	9784004311980	10+0227189		
6	和歌文学の基礎知識	谷知子	角川選書	2006	9784047033948	10+0184232		
7	教科書で読む名作 山月記・名人伝ほか	中島敦	ちくま文庫	2016	9784480434128	10+0373657		
8	教科書で読む名作 陰翳礼讃・刺青ほか	谷崎潤一郎	ちくま文庫	2017	9784480434142	10+0373658		
9	教科書で読む名作 夏の花ほか 戦争文学	原民喜ほか	ちくま文庫	2017	9784480434135	10+0373659		
10	教科書で読む名作 夢十夜・文鳥ほか	夏目漱石	ちくま文庫	2017	9784480434159	10+0373660		
11	教科書で読む名作 伊豆の踊子・禽獣ほか	川端康成	ちくま文庫	2017	9784480434166	10+0373661		
12	教科書で読む名作 セメント樽の中の手紙ほかプロレタリア文学	葉山嘉樹ほか	ちくま文庫	2017	9784480434173	10+0373662		
13	教科書で読む名作 走れメロス・富嶽百景ほか	太宰治	ちくま文庫	2017	9784480434180	10+0373663		
14	教科書で読む名作 高瀬舟・最後の一句ほか	森鴎外	ちくま文庫	2017	9784480434197	10+0373664		
15	教科書で読む名作 一つのメルヘンほか 詩	中原中也ほか	ちくま文庫	2017	9784480434203	10+0373665		
16	日本近代文学入門 12人の文豪と名作の真実	堀啓子	中公新書	2019	9784121025562	10+0358208	12人の近代作家が扱われています。夏目漱石、森鴎外、樋口一葉は知っていても、三遊亭圓朝、田辺花園、黒岩涙香って「誰？」となる人も多いはず（基礎日本文学Cで説明はしています。覚えていますか？）。「入門」となっているものの、十分専門的。読みやすく、理解も深まるお得な1冊。	梅澤 亜由美
17	日本の古典を読む15 『宇治拾遺物語 十訓抄』	小林保治ほか	小学館	2007	9784093621854	10+0219484		
18	仏像のひみつ	山本勉	朝日新聞社	2021	9784255012391	10+0371071		
19	「文」とは何か 楽しい日本語文法のはなし	橋本陽介	光文社新書	2020	9784334044886	10+0371098		
20	ココが面白い！ 日本語学	岡崎友子・他	ココ出版	2017	978-4-904595-90-9		日本語学的な観点から身の回りのことばの問題を取り上げるとどの様に考えることができるのか、ということが、わかりやすく、楽しく学べる一冊です。	高田 三枝子
21	はじめての言語学	黒田龍之介	講談社現代新書	2004	978-4-06-149701-6		日本語は言語のひとつです。ことばを日本語という範囲にとどめず言語という観点から捉えたときに見えてくる面白さを教えてくれる一冊です。軽妙な文章で飽きさせず、日本語学・言語学を全く知らない人にも、ある程度学んだ人にも、おすすめです。	高田 三枝子

応 用								
	タイトル	著者	出版社	出版年	ISBN	資料ID	コメント	推薦者
1	日本語全史	沖森卓也	ちくま新書	2017	9784480069573	10+0371100		
2	兼好法師―徒然草に記されなかった真実	小川剛生	中公新書	2017	9784121024633	10+0343820		
3	唐物の文化史―舶来品からみた日本	河添房江	岩波新書	2014	9784004314776	10+0272718		
4	富士山の文学	久保田淳	角川ソフィア文庫	2013	9784044069063	10+0373667		
5	仏教説話 文学説話	説話研究会、馬淵和夫	大修館書店	1987	9784469120479	50+0110459		
6	夢の日本史	酒井紀美	勉誠出版	2017	9784585221777	10+0340859		
7	「古今和歌集」の創造力	鈴木宏子	NH Kブックス	2018	9784140912546	10+031068	「ことば」と「ところ」と「型」をキーワードとして、日本の美意識の原点とも言える『古今和歌集』について語り尽くした一冊。古典のことばは読みかえられるたびに新たな命が吹きこまれるということに改めて気づかされます。	田中 仁
8	和歌史 なぜ千年を越えて続いたか	渡部泰明	角川選書	2020	9784047036536	10+0370149		
9	定本 日本近代文学の起源	柄谷行人	岩波現代文庫	2008	9784006002022	10+0217382	「風景の発見」「内面の発見」「児童の発見」（章タイトルより）、今では当たり前の概念も近代になって発見されたものだった？ 英語、ドイツ語、中国語といった各種言語にも翻訳された名著、卒業までに読みこなせるようになります。	梅澤 亜由美
10	古典講読『平家物語』セミナーブック・セレクション	梶原正昭	岩波書店	2014	9784000287012			
11	今昔物語集を学ぶ人のために	小峯和明編	世界思想社	2003	9784790709671	10+0203815		
12	日本語全史	沖森卓也	ちくま新書	2017	9784480069573	10+0371100		

学科からのメッセージ	
「ひとり灯のもとに文をひろげて見ぬ世の人を友とするぞ、こよなう慰むわざなる」（『徒然草』）	
「ともしびのかげにて見ると思ふ間に文のうへしろく夜は明けにけり」（香川景樹『桂園一枝』）	
皆さんにもぜひ読書を！	